

目標		入職日～数日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1) 専門職業人として、援助の元基礎看護技術が実践できる。 2) 当院の概要を知り、看護師としての自覚を持つ事が出来る。 3) 配属部署の特性を理解し、日常の看護が援助の元実践できる。 4) 基礎的知識・技術・態度を身に付け、援助の元ベッドサイドケアが安全・確実に出来る。		1. 看護職員としての基本的姿勢を理解する。 2. 看護技術の基礎を学び、理解する。 3. 電カルを理解する。	1. 病棟の雰囲気慣れる。 2. 挨拶ができる。(患者様・職員同士) 3. 自部署の備品の保管場所、設備、構造がわかる。	1. 入院から退院(転棟)の流れを大まかに把握できる。 2. 日中の業務の流れが解る。 3. 指導のもと、必要な情報収集、観察ができる。	1. 指導者と共に、1日様のスケジュールをたてる事ができる。 2. 報告・連絡・相談ができる。 3. 指導者と共に、手術患者の対応の一連の流れに対応できる。	1. 検査・処置の目的を理解し、介助等ができる。 2. 記録が規定を守り記載できる	1. 4名～6名の患者様の受け持ちができる。 2. 優先順位を考えた行動がとれる。 3. リーダーに報告ができる。	1. 急変の気づきができる。 2. 医療事故防止の重要性がわかる。	1. 医師への報告・連絡ができる 2. 家族への連絡が出来る 3. 休日の日勤業務が出来る	1. 遅出業務・早出業務ができる。 2. 当院における災害時の対応が、おおまかに理解できる。	1. 夜勤に向けての心構えが持てる。 2. 夜勤業務の把握ができる。 3. 少人数での連携の大切さを理解する。 4. 夜間の安全管理について考えることができる。	1. 夜勤の一人だちができる 			1. 出来なかった業務や体験していない業務を明確にできる。 2. 1年の振り返りができる。	
研修項目	I. 看護職員としての基本姿勢と態度	1. 接遇について 2. 交通安全 3. 医療現場における倫理														
	1. 環境調整		☆ 環境調整・ベッドメイキング													
	2. 食事援助			安全な食事介助の仕方 食事介助の実際												
	3. 排泄援助		☆ 留置カテーテル管理と排泄ケア													
	4. 活動・休息		☆ 移送介助・トランスファーの実際	フィジカルアセスメント (関節可動域測定)	1本杖・松葉杖の使い方											
	5. 清潔・衣生活		☆ 清潔介助(清拭、陰部洗浄、入浴介助)													
	6. 呼吸・循環	採血・簡易血糖測定		☆ 酸素吸入	☆ サクシヨンの実際	☆ フジカルアセスメント					輸血の実際	心電図について				
	7. 創傷処置	清潔操作 褥瘡予防														
	8. 与薬援助	薬剤について	注射実技	☆ 筋肉注射・皮下注射・点滴静注射	☆ 点滴の管理	☆ PCAポンプについて										
	9. 救命救急										急変時・救急時の対応					
	10. 症状・生体機能			☆ バイタルサイン・身体測定・観察	☆ 牽引の組み立て ☆ 検査介助(ミエロ、ルートブロック)											
	11. 苦痛の緩和															
	12. 感染防止	感染防止対策														
	13. 安全確保	医療安全														
14. コミュニケーション	コミュニケーションについて															
III. 管理	15. 管理	1. 病院概要説明 2. 個人情報保護 3. 電カル、看護記録の取り扱い														
その他新人職員研修				医療・看護必要度研修			多重課題	医療・看護必要度研修			看護研究発表会			1年の振り返り、終了式		



夜勤時は記録が残っていても休憩しましょう!!無理は医療事故の元!!



☆ 各部署での研修

集合研修

個別研修